



アミール・ツアルファティ [2024年7月27日 ニュース速報]

<https://youtu.be/58aGe5OIQ5M>



皆さんシャローム。アミール・ツアルファティです。ニュース速報をお伝えします。テレグラムで私をフォローしているなら、何が起きているのか正確にご存知でしょう。しかし、テレグラムで私をフォローしていない人も、知るべきニュースです。数時間前、ヒズボラの大型ロケット弾が、ドゥルーズ派のコミュニティーにあるサ

ッカー場に着弾しました。イスラエル北部のマジダル・シャムス、ヘルモン山の真下、ゴラン高原に位置します。そして、10歳からおよそ18歳の子供たち10人が即死、20人が負傷しました。皆さん、10月7日以来最大の民間人が犠牲になる攻撃が数時間前に発生しました。ヒズボラの大型ロケット、イラン製のヒズボラ所有の大型ロケット、ファラク1が、ヘルモン山の南斜面の真下にある、マジダル・シャムスと呼ばれるドゥルーズ派の町の中心部に落下、10人の子供たちが即死し、20人が負傷しました。繰り返しますが、これはイスラエル国防軍に対する攻撃でも、ユダヤ人の町に対する攻撃でもありません。彼らは誤算し、ドゥルーズ派の子供たちが殺害されました。ヒズボラは大きな間違いを犯したことに気づき、直ちに声明を発表して、彼らはそれをしていないと述べました。なぜなら、彼らはレバノンとシリアのドゥルーズ派が、この10人の子供たちの死を復讐するのではないかと非常に恐れているからです。皆さん、理解しなければなりません。これは大量虐殺です。繰り返しますが、大型ロケット、数百ポンドの爆発物が、突然、真昼間に、ドゥルーズ派の村の中心部にある、数十人の子供たちが競技をしていたサッカー場に着弾し、10人が即死したのです。私のテレグラムチャンネルを見てください。手足や頭のない子供たちの非常に悲惨な映像を投稿しました。本当に恐ろしいです。何が起こったかという、ヒズボラは、それによっておそらく形勢が一変したことを理解したのです。これは、彼らが避けたかった動きだったのに、彼らは、一日中ロケットを発射する作戦を実行中で、どういうわけか、やってしまったのです。おそらく、イスラエルが、レバノン南部のラドワン軍の特殊部隊の4人を暗殺したことを受けて、彼らは激怒し、あらゆるところにロケット弾を発射することを決意、そのうちの1発が、ドゥルーズ派が住む民間の町の中心部に着陸したのです。ドゥル

ーズ派はイスラエルに住む 10 万人の少数派です。彼らのほとんどは親イスラエル派で、その多くがイスラエル国防軍に所属していて、彼らの中には、将軍や准将といった高い地位に就いている人もいます。ゴラン高原のドゥルーズ派のコミュニティは、1967 年までシリアの一部で、彼らは、シリアとの将来の協定で、シリアに送還されるのではないかと非常に恐れていました。だから彼らは、後で代償を払うことになるのを恐れて、イスラエルを支持しないという中立的な立場を常に保ってきたのです。しかし、それでも彼らは友好的なイスラエル市民で、ユダヤ人はヘルモン山へ登る途中、いつも彼らの町を通っていました。

皆さん、繰り返します。2 時間前に、ヒズボラの大規模ロケット弾が、イスラエル北部ヘルモン山の真下にあるドゥルーズ派の町の中心部に落下、10 人の子供たちが即死し、20 人が負傷しました。10 月 7 日以来最大の民間人が犠牲になった事件です。ネタニヤフ首相は今アメリカにいて、今は安息日です。こちらではもう終わっていますが、アメリカではまだ安息日で、通常、首相たちは、安息日の終わりでまで滞在して、移動を始めますが、彼はすでに「帰国する」と言い、彼らは現在、最終準備を進めています。その一方で、首相は、イスラエルの安全保障機関のトップ全員と会合を行っています。この出来事を受けて、間違いなく非常に厳しい報復を行わざるを得ないでしょう。問題は、我々は、ヒズボラとの全面戦争に突入するのか、それとも、我々は、対応を強化しながらも、全面戦争を回避できるのか？なぜなら…はっきり言いますが、ヒズボラに対する全面戦争は、イスラエル全土がミサイルの射程内に入る全面戦争になり、そして、シリアとイラクからも、ミサイルの集中砲火が始まることは間違いありません。したがって、全面戦争に突入すると決定すれば、私たちには、2 つのことが必要です。我々は、地上でロケットを破壊する彼らの能力を確実に奪うために、ロケットを発射し、奇襲攻撃を仕掛ける必要があります。しかし私は、奇襲攻撃はないと思います。現在、彼らは準備が整っていますから。2 つ目は、我々の国内戦線、テルアビブ、ハイファ、イスラエルの至る場所で、私たちも準備を整える必要があります。数日間の大戦争に、全員を備えなければなりません。ヒズボラは、確実にイスラエルのインフラも攻撃するので、電気や水道などが使えなくなる可能性があります。また、ヒズボラはレバノンではなく、ガザやパレスチナ人がハマスであるのとは異なります。ガザはハマス、ハマスはヒズボラです。しかし、レバノンでは異なり、レバノン人のほとんどは、ヒズボラを嫌っています。そして、ヒズボラのせいで彼らの国を破壊するというので、今現在我々の敵ではない人たちを、新たな敵にまわすこととなります。私たちは、報復のタイミングと方法に、細心の注意

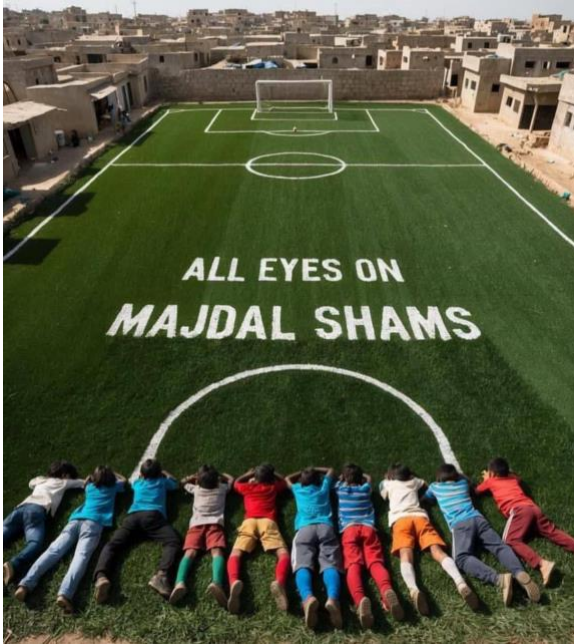
を払わなければなりません。そのため、首相は今、参謀総長と国防大臣と電話対談中で、彼は、イスラエル国防軍の攻撃計画全体を承認しなければなりません。バイルートでの攻撃も行われるかもしれません。そして、このようなことは、受け入れられないというメッセージを彼らに送り、同時に、我々の条件、我々の適切なタイミングで戦争を開始する主導権を、我々が握るためです。

ですから、繰り返しますが、微妙な状況です。こういう時、私たちは腹ではなく、頭で考える必要があります。誰もが今、ヒズボラのすべてを破壊したいと思っていて、バイルートを一掃したり、その他も厭いません。しかし同時に、事態ははるかに大きいのです。ですから、お祈りください。高い可能性で、今夜から報復が始まるでしょう。現在、イスラエルは午後 9 時過ぎです。私は夜通し起きて、テレグラムで報告します。

繰り返しますが、テレグラムが、起こっている状況を知ることができる唯一の方法です。私は実際に起こった爆発の映像や、残念ながら、あそこで子供たちに起こったことの映像をすべて持っています。見せたくはありませんが、そこにあります。ですから、テレグラムで私をフォローしていない方は、今すぐフォローしてください。Amir Tsarfati、テレグラムのチャンネル登録者数は、54 万人を超えています。私がこれを言う理由は、私の名前を使った偽のチャンネルを、皆さんがフォローしないためです。私をフォローしたいなら、唯一登録者数が 540,000 人を超える Amir Tsarfati チャンネルです。テレグラムは、私にとって皆さんとコミュニケーションをとる唯一の、そして最良で最も安全な方法で、ソーシャルメディアでは伝えられない貴重な情報をお伝えしています。

10 月 7 日以来最大の民間人が犠牲となる事件が 2 時間前に発生し、ドゥルーズ派イスラエル人の子供たち 10 人が…ドゥルーズ派については、後ほど詳しくお話ししますが、彼らは少数派で、アラビア語を話しますが、イスラム教徒ではありません。彼らは文化的にも、食べ物や言語など多くの点で、アラブ人の精神を持っていますが、しかし同時に、彼らは独自の宗教を持っています。彼らは、自分たちの国を求めておらず、彼らは、領土と独立を得るために戦ったりしていません。レバノン、シリア、イスラエル北部にもドゥルーズ派がいます。イスラエル北部では、カルメル山、下ガリラヤ、上ガリラヤ、ゴラン高原に彼らは居ます。素晴らしい人々です。非常に忠実な国民で、その多くがイスラエル国防軍に従軍しています。私もドゥルーズ派の友人がたくさんいます。彼らの一部は、私の軍部隊にも所属していました。ということで、とても、とても、とても悲惨な夜でした。我々は、今後数時間以内に非常に厳しい報復を行う準備をしています。お見逃しなく。私は夜通し起きて、特にテ

レグラムで報告します。ネタニヤフ首相は、予定を早めてイスラエルに到着する予定です。彼は安息日の後ではなく、安息日の最中飛行して帰国します。感謝なことに、今、彼には「シオンの翼」と呼ばれる専用機があるため、それが可能なのです。そして感謝なことに、その中に必要なシステムがすべて揃っているのです。彼は飛行機からすべての状況を把握することができます。



ありません。

という事で、繰り返しますが、テレグラムで私をフォローしてください。イスラエル北部での戦争は、レバノンに対する全面戦争にエスカレートする可能性があります。イスラエルのドゥルーズ派の子供10人が虐殺され、さらに20人が負傷して入院しています。彼らの幾人かは、今まさに生死を彷徨っています。すべての詳細、すべての映像、すべてのビデオ、写真、情報は私のテレグラムチャンネルにあります。どうか、どうかお願いします。そして、「マジダル・シャムスに注目！」を拡散してください。そこで虐殺が起きました。そして、被害者は全て民間人です。ハマスを後ろに隠している民間人では

以上です。神の祝福がありますように。できるだけ多くの人にこれをシェアしてください。



アミール・ツアルファティ テレグラムチャンネル

ビホールド・イスラエル 日本語チャンネル

<https://www.youtube.com/@BeholdIsraelJapanese>

日本語の聖書箇所は特記がされていない限り新改訳 2017 より引用しています。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

メッセージの無断転載を固く禁じます。

Copyright © ビホールド・イスラエル All Rights Reserved.

